

2024年5月10日

各位

会社名 GMO フィナンシャルゲート株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 杉山 憲太郎  
 (コード番号 4051 東証グロース)  
 問合せ先 取締役 コーポレートサポート本部  
 本部長 玉井 伯樹  
 (TEL 03-6416-3881)

サプライチェーン温室効果ガス排出量に対する保証書取得について(2023年9月期)  
 ~Scope 1・2のカーボンニュートラルを実現~

当社連結企業集団は社会的責務を果たす一環として、環境負荷に配慮した経営活動を重視しております。そこで、サプライチェーンにかかる温室効果ガス排出量を可視化及び開示し、継続的にモニタリングを行うことで、環境負荷に配慮した経営の実現と高度化を目指しております。

2023年9月期のサプライチェーンにかかる温室効果ガス排出量について、第三者認証機関であるソコテック・サーティフィケーション・ジャパン株式会社より保証書を取得(Scope 1・2<sup>\*1</sup>のカーボンニュートラルを実現)しましたので以下、掲載いたします。

独立した第三者保証報告書



GMO フィナンシャルゲート株式会社  
 代表取締役社長 杉山 憲太郎 殿

ソコテック・サーティフィケーション・ジャパン株式会社(以下、「SOCOTEC」という。 )は、GMO フィナンシャルゲート株式会社(以下、「会社」という。 )からの委託に基づき、会社が作成した主題情報(“GHG 排出量算定報告書(第 25 期)” (期間: 2022 年 10 月 1 日~2023 年 9 月 30 日))がすべての重要な点において規準に適合しているかについて限定的保証業務を実施した。

1 主題情報と規準

保証対象となる主題情報(“GHG 排出量算定報告書(第 25 期)” (期間: 2022 年 10 月 1 日~2023 年 9 月 30 日))は、“GHG 排出量算定手順書(Ver.3.0)”に記載された会社と会社の連結子会社(2 社)における事業活動を対象範囲とする、“エネルギー起源 CO2 排出量(Scope1 は該当なし、Scope2(ロケーション基準、マーケット基準))及び企業のバリューチェーンで発生するその他間接 GHG 排出量(Scope3(カテゴリー: 1,2,3,4,5,11))に関する報告”である。主題情報を作成する規準は“GHG 排出量算定手順書(Ver.3.0)”である。

主題情報 期間: 2022 年 10 月 1 日~2023 年 9 月 30 日			
エネルギー起源 CO2 排出量		企業のバリューチェーンで発生するその他間接 GHG 排出量	
Scope 1:	— t-CO2e	Scope 3: 19,501 t-CO2e	
Scope 2:	ロケーション基準 87 t-CO2e	内訳(t-CO2e)	
	マーケット基準 0 t-CO2e	カテゴリー 1: 13,982	カテゴリー 2: 110
		カテゴリー 3: 0	カテゴリー 4: 1
		カテゴリー 5: 4	カテゴリー 11: 5,405
※Scope 3 の合計値は、小数点以下の値を含んだ各カテゴリーの集計結果であり、見かけ上四捨五入された各カテゴリーの集計結果とは一致しません。			

今後も每期保証書の取得及び開示を行いながら、Scope 3<sup>\*2</sup>の削減に向け、決済端末メーカー、システム開発会社等との対話を継続することで、環境負荷に配慮した経営活動を実践してまいります。

※1 Scope1 (企業が自ら排出する GHG 排出量): 該当なし、Scope2 (購入した電力・熱等の間接的な GHG 排出量): 0 トン CO2 (マーケット基準)

※2 当社活動に関連するサプライチェーンに由来する間接的 GHG 排出量(カテゴリー 1 (購入した製品・サービス)、カテゴリー 2 (資本財)、カテゴリー 11 (販売した製品の使用)、その他で構成)

以上